



アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い
第22回シンポジウム（通称 SAGA22）を
モンキーセンターで開催します！

SAGAとは「アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い」の略で、チンパンジー（およびボノボ）、ゴリラ、オランウータンといった大型類人猿の現状と将来について、研究・飼育・自然保護という立場から考えることを目的とし、毎年1回シンポジウムを開催している任意の団体です。

今年は日本モンキーセンターを会場に、「コミュニケーションで広がる保全、福祉、研究の輪」をテーマとして開催されることとなりました。大型類人猿をはじめ多くの野生動物が絶滅の危機に瀕していますが、一部の専門家だけでなく多くの方が輪を広げムーブメントとなれば、状況は変わるかもしれません。SAGA22では名古屋、京都、大牟田の各動物園から情報発信の取り組みをご紹介いただくとともに、日本モンキーセンターからもtwitterを活用した情報発信について紹介します。また野生動物の生息地から発信されるメッセージについても取り上げ、日本オランウータン・リサーチセンターの協力のもと、マレーシアからオランウータンの研究者・マシュー・ノヴァク氏をお招きして招待講演もおこないます。全国から動物園関係者、研究者などから計12件の話題提供があるほか、ポスター発表34件、ブース展示4団体が集まります。

- 日程： 2019年11月16日(土)、17日(日)
- 場所： (公財)日本モンキーセンター
- 主催： SAGA (アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い)
- 共催： (公財)日本モンキーセンター、京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
- 対象： どなたでも
- 参加費： 無料 ※入園料は別途必要
- 全体テーマ： コミュニケーションで広がる保全、福祉、研究の輪

参加費無料(入園料のみ)で、事前申し込みも不要です。2日間じっくり参加することもできますし、聞きたい部分だけの参加も歓迎です。多くの方にご参加いただきたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : saga22@j-monkey.jp
問い合わせ先 : SAGA22 担当 田和、赤見、林、友永

資料1：チラシ表面



コミュニケーションで広がる
保全、福祉、研究の輪



主催：SAGA（アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い）
共催：（公財）日本モンキーセンター、京都大学雪長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

資料2：チラシ裏面（プログラム）

SAGA22 プログラム

11/16(土)
1日目

10:20～ ごあいさつ

セッション 1 動物園から伝えるメッセージ

- 10:30～ 「体験!『アフリカの森』
～新チンパンジー・ゴリラ舎で伝えたいこと」
近藤裕治（名古屋市東山動物園）
- 10:50～ 「動物をそんなに好きでもないヒトに、
動物園のおもしろさを知ってもらって、
動物を好きになってもらっています。」
穂味芳宏（日本モンキーセンター）
- 11:10～ 「動物福祉を体現し、伝えるためにできること」
富澤奏子（大牟田市動物園）
- 11:30～ 「京都市動物園におけるゾウ繁殖プロジェクト
～ゾウを通じたラオスとのつながり～」
田中正之（京都市動物園 生き物・学び・研究センター）

セッション 2 生息地から伝えるメッセージ

- 13:30～ 「生まれた集団から移籍するメスの生活過程：
コンゴ民主共和国に生息するボノボの野外研究から」
戸田和弥（京都大学霊長類研究所）
- 13:50～ 「北海道で野生のシャチを研究する」
三谷曜子（北海道大学）
- 14:20～ 「おらがチンパンジー！村人の言葉と森の姿の比較」
森村成樹（京都大学野生動物研究センター
／日本モンキーセンター）

セッション 3 “おらけん” 特別セッション スマトラ島のオランウータンとテナガザル ～最新の研究成果と保全について～

- 15:00～ 趣旨説明
- 15:10～ 招待講演 「スマトラ島における類人猿の
調査研究および保全活動に関する報告」
マシュー・ノヴァク（スマトラオランウータン保全センター）
- 16:00～ 「スマトラ島を訪ねて
～動物園で実践したこと、伝えたいこと～」
武田梓（名古屋市東山動物園）

17:00～ 18:30 ポスターセッション
会場：ネボンハウス前 無料休憩所

18:30～ 20:30 懇親会
会場：食事処「楽園」

11/17(日)
2日目

10:00～ 開場

セッション 4 コミュニティとともに広げる 保全、福祉、研究の輪

- 10:30～ 趣旨説明
- 10:40～ 「住民主体の保全体制を目指して
～コンゴ民主共和国ルオー学術保護区ワンバ村での試み」
徳山奈桃子（総合研究大学院大学）
- 11:00～ 「メディアで伝える？
大型類人猿の本来の暮らしと親子関係」
林美里（京都大学霊長類研究所
／日本モンキーセンター）
- 11:30～ 「広告の視点で人と野生動物をつなぐ」
木下さとみ（株式会社電通）
- 12:00～ 総合討論

注意事項

- ・会場となるビジターセンターのホールは飲み物のみ可。
- ・動物園は16:00に閉園します。
閉園後の園内見学はできません。
- ・犬山駅行きの岐阜バスの最終便は18:09です。
懇親会、ポスターセッションに参加される方は
徒歩やタクシーをご利用ください。

ブース展示

会場：ビジターセンター内

- ・日本オランウータン・リサーチセンター
スマトラ・タバヌリ部門（おらけんスマタバ）
- ・ポレポレ基金（POPOF）
- ・市民ZOOネットワーク
- ・動物園学生くらぶ

ぜひ
お立ち寄り
ください★

要旨集はこちらから
ダウンロードできます↓

懇親会参加申込：11/16(土) 13:30までに
会場の申込用紙に氏名をご記入ください。
懇親会費（飲酒あり 3,000円、なし 2,000円）は
懇親会開始時に会場入口で徴収します。

